

第11回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 配管減肉分科会 議事録(案)

1. 日 時：2015年7月3日(金) 13時30分～15時30分
2. 場 所：日本機械学会 第3・4会議室
3. 出席者：川端(関電)、近藤(MHPS)、増田(東京PT)、五代儀(火原協)、
橋井(富士電機)、朝倉(東芝)、
代理者：西村(東北電力：竹石委員代理)
欠席者：なし
オブザーバ：貞守(中部電力)、尾山(東電)、東(富士電機)、今野(富士電機)、
半澤(東北電力)、舟瀬(関電)
事務局：原

4. 配布資料

- 11-1 配管減肉分科会前回議事録案
- 11-2 配管減肉分科会委員名簿
- 11-3 第72回火力専門委員会議事録(案)
- 11-4 第74回発電用設備規格委員会議事録(案)
- 11-5 CA1-2005：火力専門委員会審議資料
- 11-6-1 3方向放射線透過法 意見集約結果に対する回答
- 11-6-2 3方向放射線透過法 規格原稿案
- 11-6-3 3方向放射線透過法による配管肉厚測定装置 説明資料(PPT)
- 11-7-1 審議履歴表
- 11-7-2 火力設備配管減肉管理技術規格(TB1-2009)改訂原稿案
- 11-7-3 新旧対比表
- 11-7-4 改訂履歴

5. 議題

- (1) 前回議事録確認 [資料 11-1]
前回議事録(案)について確認を行ない、議事録案は承認された。
- (2) 分科会委員・役員の承認 [資料 11-2]
 - 大鹿委員と井手委員の退任が報告された。
 - 貞守氏(中部電力)と尾山氏(東京電力)を新任候補として、火力専門委員会に推薦することが、出席委員全員の賛成により承認された。また、委員の互選により尾山氏が分科会主査候補に選任された。
- (3) 報告事項 [資料 11-3]
 - (3-1)火力専門委員会報告 (5月27日開催)
第71回火力専門委員会の審議内容について、以下のとおり報告された。
 - ・火力専門委員会委員・役員の推薦承認

- ・各分科会委員・役員の承認
- ・第9回配管減肉分科会報告
配管減肉管理に関する規格(JSME S CA1-2005)：火専書面投票結果報告
減肉管理技術規格(JSME S TB1-2009)改訂の審議状況、放射線透過式配管減肉測定装置に関する審議状況について報告。
- ・配管減肉管理に関する規格(CA1-2005)の改訂提案について、原子力専門委員会書面投票意見対応による改訂案が承認された。

(3-2) 規格委員会報告 (6月10日開催)

[資料 11-4]

第74回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下のとおり。

- ・火力専門委員会関連の審議
発電用火力発電規格の書面投票規 No293 の結果報告および、意見対応以降の審議手順の確認を行った。

(4) 審議事項

(4-1) 配管減肉管理に関する規格 (JSME S CA1-2005) の改訂 [資料 11-5-1,2]

○原子力専門委員会の「CA1-2005 の改訂」に関する書面投票意見対応による改訂案が、火力専門委員会において、審議・可決されたことが報告された。

CA1-2005 の改訂案の規格本文における改訂箇所は、資料のとおり、表1の補注「フラッシング(二相流)が発生する」を「フラッシング(減圧沸騰)により二相流が発生する」のみであり、編集上の修正であること、および修正内容が妥当であることが承認された。

(4-2) 火力設備配管減肉管理技術規格 (JSME TB1-2009) の改訂

[資料 11-7-2,3,4]

川端副主査および近藤幹事から、各委員のコメント反映後三役にて最終確認を行った規格原稿案(3方向放射線透過法を除く)、新旧対比表、改訂履歴について説明があり審議を行った。

審議後決議を行い、当改訂案が3方向放射線透過法を除く部分の改訂案とすることが出席委員全員の賛成で承認された。

(4-3) 3方向放射線透過法について

[資料 11-6-1,2,3]

富士電機東氏より、意見集約結果に対する回答、規格原稿案、パワーポイントの説明資料の修正点、について説明があり、審議を行った。

[規格原稿案：資料 11-6-2]

○P48 8.1(1)試験対象部位の選定 1～2行目を以下のとおり修文

→ 試験対象部位は、規格本体第9節までの規定に加えて、以下の条件項目を調査

確認して、本試験における試験対象部位を選定する。

- 本規格、規格本体は、規格本体に統一する。(全般)
- P49 8.2(2)試験方法の最後の2行を以下のとおり修文(意見No2 対応)
→なお、本試験方法で・・・含まれており、設備管理者が事前に把握することが必要である。また、検出器は・・・。
- P53 の測定フローチャート 【実測値】
一測定点の測定終了? → 3 方向の測定を終了? (表現を分かりやすくするため。)
- P54 [添付資料 8.4] 2 行目 (意見 No1 対応)
不確かさに*を付けて、(1)吸収係数の上の行に JIS8103 の用語から持ってきたものであることの注を記載する。
- P54(3)装置取付けによる芯ぶれ 1 行目からの説明とプレゼン資料 P23
これがずれてしまうと芯ぶれが発生する → 取付けがずれてしまうと芯ぶれが発生する。
- 「取付け」と「取り付け」は、「取付け」に統一する。(全般)

審議後決議を行い、本修正をもって3方向放射線透過法の規格案とすることが出席委員全員の賛成により承認された。

■今後の進め方

- 富士電機は今回の審議結果に基づき規格案を修正し、電子データを事務局に送付する。(7月第2週目中)
- 分科会三役が、既存部分の規格案と3方向放射線透過法の規格案を合体させ、合わせて、新旧対比表、改訂履歴を修正する。
- 11 月後半の火力専門委員会へ上程する。~~できるだけ準備を進める。~~次回の分科会(9/11)では、提案資料一式を準備して確認、審議を行う。
- 11 月火力専門委員会終了後、火力専門委員会の書面投票(1 ヶ月)を実施頂く。
- 次回開催前に、幹事会を8/28(金) 15:30～ 実施予定。

6. 次回開催予定

日 時：2015 年 9 月 11 日(金) 13 時 30 分～17 時 00 分
場 所：日本機械学会 第3・4会議室